

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2024 年 11 月 22 日作成 第 1.0 版

研究課題名	肝原発腫瘍に対する定位放射線治療の効果
研究の対象	2020 年 5 月～2024 年 4 月の間に横浜市立大学附属市民総合医療センター放射線治療科において、肝臓に定位放射線治療を受けた患者さんのうち、診断当時転移がなかった方を対象とします。
研究の目的	肝腫瘍の治療において、手術や穿刺局所療法が広く行われていますが、近年定位放射線治療も行われることが増えてきました。定位放射線治療は比較的新しい治療法ですので、その有効性や副作用の程度について国内の報告が少なく、明らかにしていくことで今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	診療録から情報を収集して、生存率や再発率について検討します。 いずれも通常の診療で得られた情報を用いますので、研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	西暦 2024 年 12 月 19 日（研究機関の長の許可日）～ 西暦 2030 年 4 月 30 日 情報の利用を開始する予定日：西暦 2024 年 12 月 19 日（研究機関の長の許可日）
研究に用いる 試料・情報の項目	【情報】診療録から以下の情報を収集します。 背景情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、飲酒歴、既往歴、合併症 診察所見 バイタルサイン 血液検査の結果（白血球数、血小板数、Hb、血清アルブミン、総ビリルビン、PT-INR、AFP、PIVKA- など） 画像検査：CT、MRI、超音波検査、PET-CT 手術情報 病理学的所見 治療内容：投与薬剤、化学療法の種類 治療効果の判定結果 合併症、副作用の有無とその内容 予後
試料・情報の授受	本研究では、外部機関との情報の授受はありません。 情報は、当院で少なくとも 5 年間保管します。廃棄する際は、個人を特定できないように処理した上で復元できない方法で廃棄します。

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

個人情報の管理	情報は、個人名など単体で個人を特定できる情報を削除し、研究用の番号（識別コード）で管理します。必要時に個人を照合できるよう管理する表（以下、対応表）を作成して、識別コードから個人を特定することが可能になりますが、その対応表は当院外へ提供することはありませんので、当院外の機関が個人を特定することはできません。
試料・情報の管理について責任を有する者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線治療科 向井 佑希
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、研究責任者が所属する診療科の基礎研究費を用いて行います。本研究における開示すべき利益相反はありません。
研究組織（利用する者の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線治療科（研究責任者）向井 佑希
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>また、情報が当該研究に用いられることについて研究の対象の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究の対象の方に不利益が生じることはございません。ただし、拒否のお申し出をいただいた段階で既に研究結果が公表されていたときなど、データから除けない場合があります。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線治療科（研究責任者）向井 佑希 （問い合わせ担当者）西川 雄太</p> <p>電話番号：045 - 261-5656（代表）</p>	